

TOTO

コンパクト手洗器用オートストップ水栓


TL579型



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。




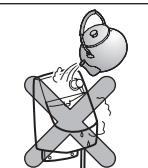
1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)


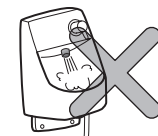


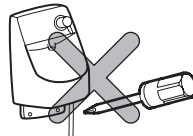

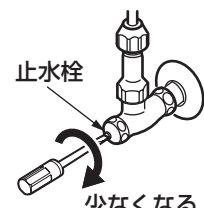
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

| 表示 | 意味 |
|---|--|
|  注意 | この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。 |

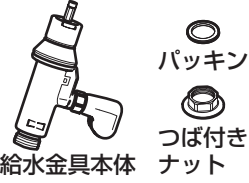
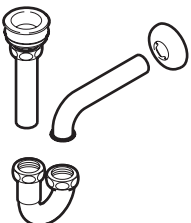
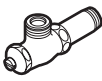
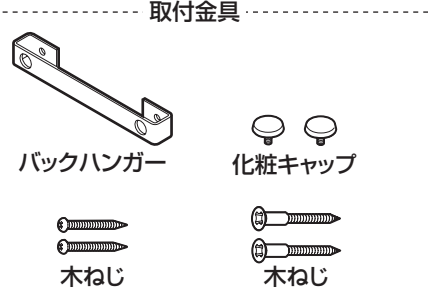
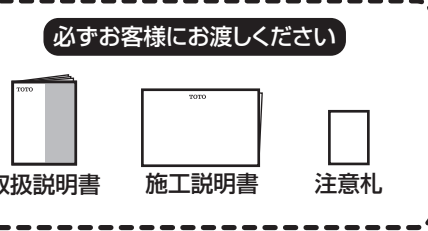
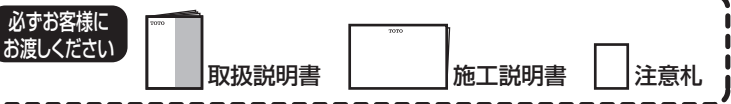
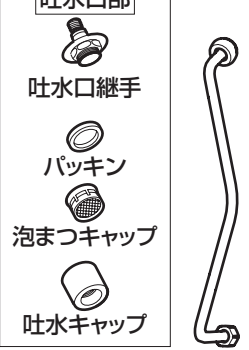
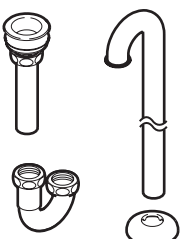



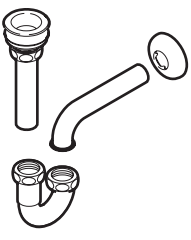
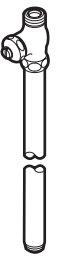


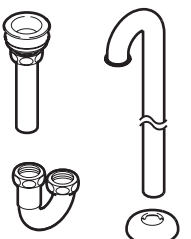


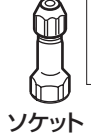
| | |
|---|---------------------------------------|
|  | は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。 |
|  | は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。 |

| 注意 | |
|---|--|
|  禁止 | 手洗器に硬い物を落とさない 手洗器が破損して、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。  |
| | 手洗器にぶら下がったり乗ったりしない 手洗器が破損してけがをするおそれがあります。  |
| | 手洗器に熱湯を注がない 手洗器が破損して、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。  |

| 注意 | |
|---|--|
|  禁止 | 40℃以上の湯は使わない 水栓が破損するおそれがあります。  |
| | 屋外や凍結が予想される場所には設置しない 故障の原因または、部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。凍結のおそれがある場合は、周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。  |
|  分解禁止 | この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない 破損して、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。  |
|  必ず実行 | 水圧が高い場合は、「7」 施工後の確認の 2. 流量の調節」を参照して止水栓を絞り流量を調節する 流量を調節しないと手洗器から水があふれ、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。  止水栓 少なくなる |

2

部品の確認

| | 給水金具 | 排水金具 | 止水栓 | その他 |
|---------|--|---|--|---|
| TL579P |  <p>給水金具本体 パッキン つば付きナット</p> |  |  <p>止水栓</p> | <p>取付金具</p>  <p>バックハンガー 化粧キャップ 木ねじ 木ねじ</p> <p>必ずお客様にお渡しください</p>  <p>取扱説明書 施工説明書 注意札</p> <p>必ずお客様にお渡しください</p>  <p>取扱説明書 施工説明書 注意札</p> |
| TL579S | <p>吐水口部</p>  <p>吐水口継手 パッキン 泡まつキャップ 吐水キャップ</p> <p>吐水管</p> |  |  <p>フランジ</p> | |
| TL579FP |  <p>吐水管継手</p> <p>押しボタン部</p>  <p>押しボタン パッキン</p> <p>給水管</p> |  |  <p>止水栓</p>  <p>フランジ</p> | |
| TL579FS |  <p>六角棒レンチ (対辺4mm)</p> <p>ソケット</p> |  |  <p>止水栓</p>  <p>フランジ</p> | |
| TL579A |  | — | — | |

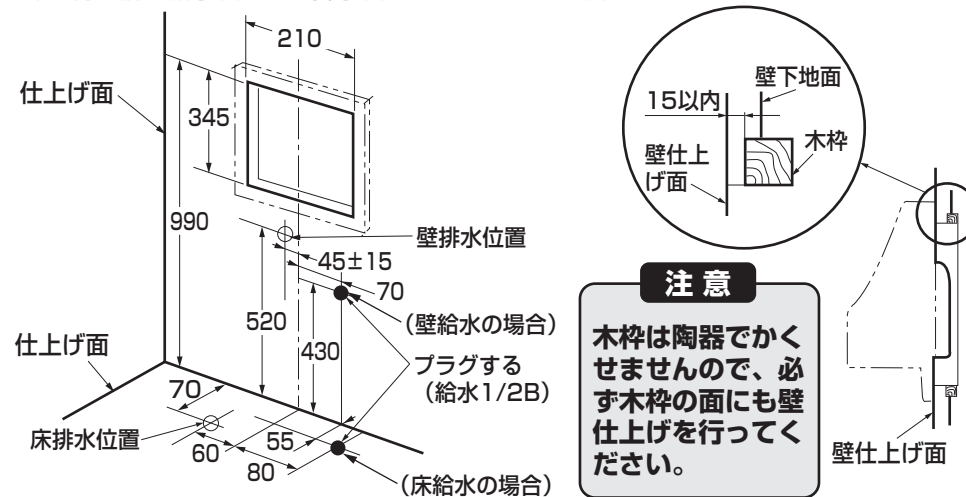
3 仕様

| | | |
|---------|-----------------|--------------|
| 給水・給湯圧力 | 最低必要水圧 | 0.05MPa(流動時) |
| | 最高水圧 | 0.75MPa(静止時) |
| 使用最高温度 | 40℃以下 | |
| 使用可能水質 | 水道水および飲用可能な井戸水 | |
| 使用環境温度 | 1~40℃ | |
| 用途 | パブリックおよび一般住宅手洗用 | |

4 取り付け前に

給水・排水管位置の確認

取り付け前に給水管および排水管の位置が正しいか確認してください。(単位: mm)



注意

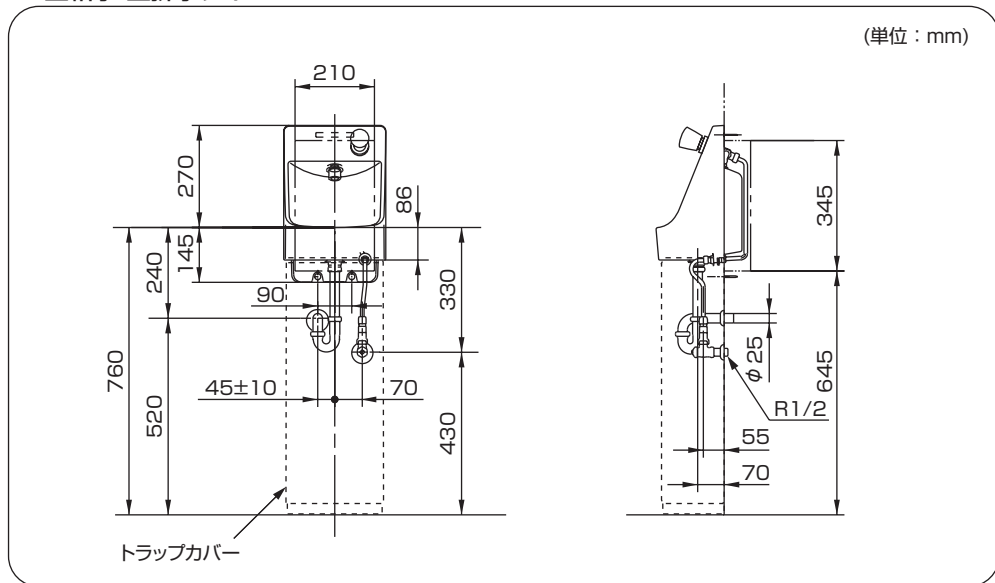
木柵は陶器でかかせませんので、必ず木柵の面にも壁仕上げを行ってください。

注意

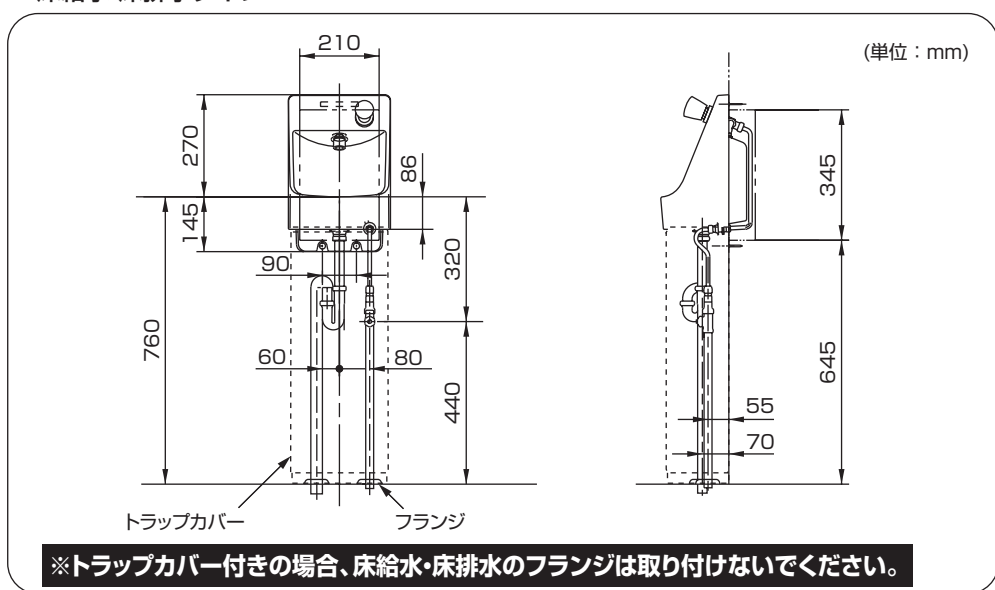
1. 壁排水の排水位置は手洗器の中心から左または右に45±15です。
2. 壁仕上げ前に図のように木ねじ固定用の木柵を固定しておいてください。

5 完成図

1. 壁給水・壁排水タイプ



2. 床給水・床排水タイプ

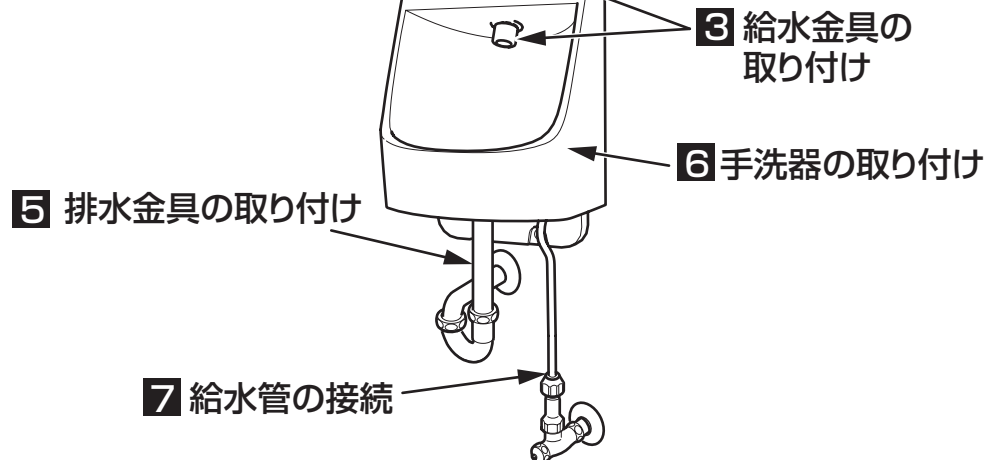


6-1 施工手順

1 バックハンガーの取り付け

2 給水管内の清掃

4 水漏れの確認

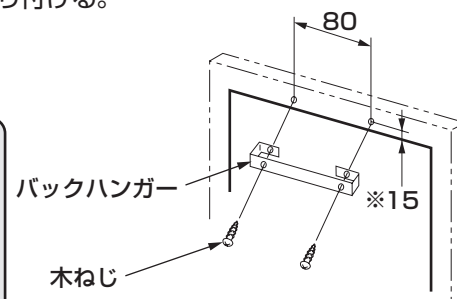


1 バックハンガーの取り付け

バックハンガーを所定の位置に取り付ける。

注意

1. バックハンガーは木枠へ水平に取り付けてください。
2. 取付強度を十分確保するため、※印寸法は必ず守ってください。



2 給水管内の清掃

取り付ける前に**必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

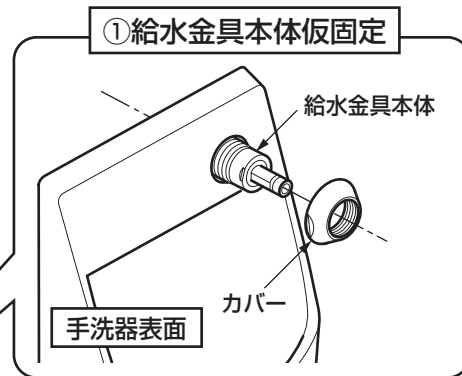
裏面へつづく

3 給水金具の取り付け

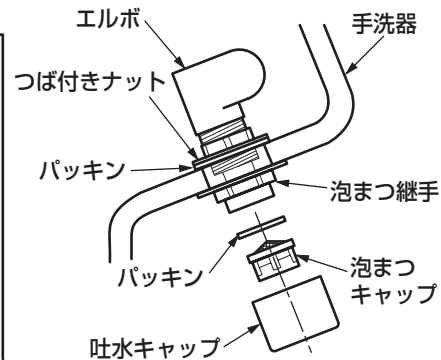
①給水金具本体を手洗器に差し込み、カバーで仮固定する。

②吐水口部を取り付ける。
※手洗器に給水金具本体エルボをあてがい、泡まつ継手で位置決めて固定してください。

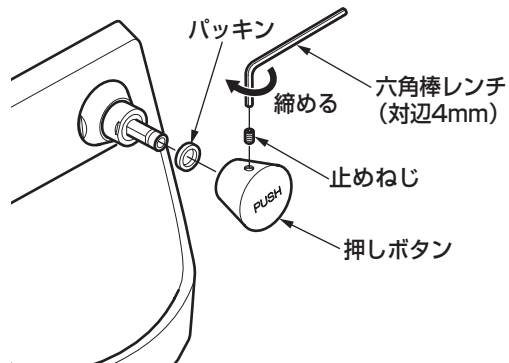
③給水金具本体を本固定する。



②吐水口部の取り付け



④押しボタンを取り付ける。



⑤手洗器に吐水管継手を差し込み、つば付きナットで仮固定する。

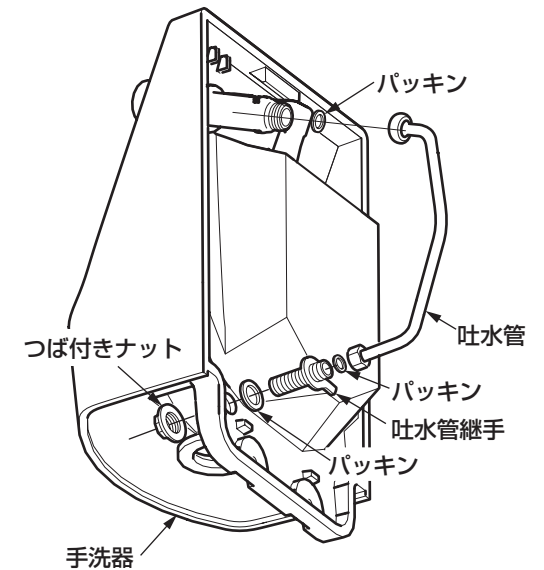
⑥吐水管を接続し、固定する。

注意

1.吐水管は変形しないように取り扱いに注意してください。

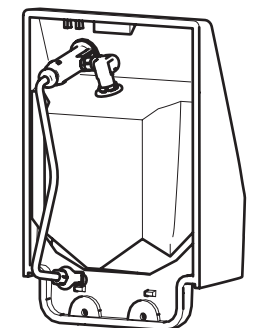
2.吐水管の結露対策は必要に応じて現場で行ってください。

⑦吐水管継手を本固定する。



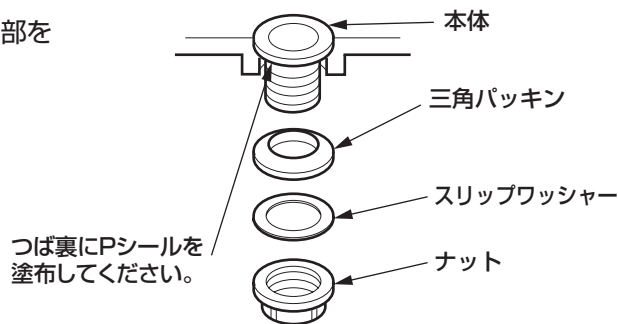
4 水漏れの確認

手洗器を設置する前に耐圧を確認し、手洗器裏側に水漏れがないことを確認する。



5 排水金具の取り付け

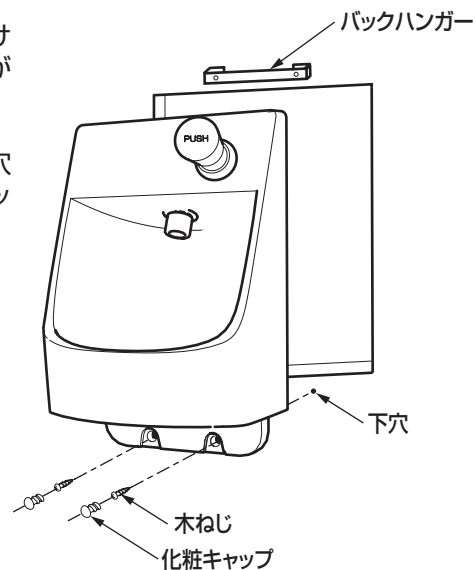
手洗器に排水金具の本体部を取り付ける。



6 手洗器の取り付け

①手洗器をバックハンガーに引っかけて仮据えし、上部を押さえ手洗器が水平であることを確認する。

②下部の取付穴の位置をけがき、下穴を開け、木ねじで固定し、化粧キャップをつける。



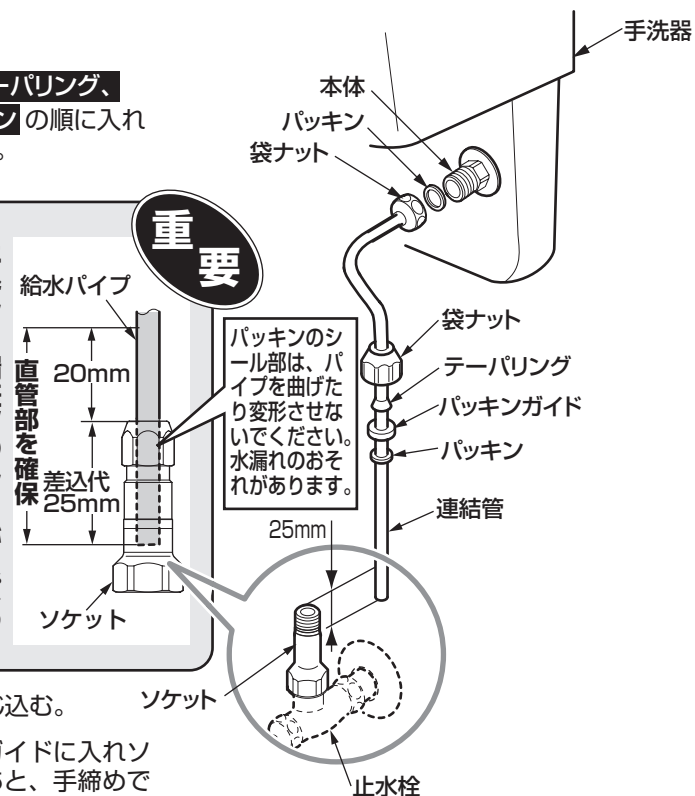
※設置したときに壁開口が見えないことを確認してください。

※施工後の補修を容易にするために、手洗器をモルタルで埋戻したり接着剤での固定はしないでください。

7 給水管の接続

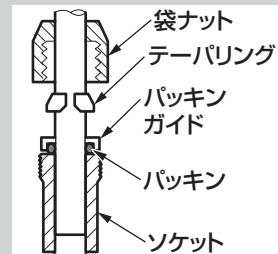
- ①止水栓を取り付ける。
- ②連結管に袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順に入れて、ソケットを差し込む。

- 注意**
- 給水パイプの抜け防止のため、パイプの差込代は約25mm確保してください。
 - 給水パイプからの水漏れを防止するため、差込代(25mm)とソケットから20mmの直管部を必ず確保してください。
 - できるだけ直管部が長くなるようにしてください。また、給水パイプがつぶれないように注意してください。



- ③ソケットを止水栓にねじ込む。
- ④パッキンをパッキンガイドに入れソケットに押しつけたあと、手締めで袋ナットを締め付け、更に工具で1回転以上締め付ける。
- ⑤手洗器の本体にパッキンを入れた袋ナットで固定する。

- 注意**
- 給水パイプの抜け防止のため、給水配管は動かないように確実に固定してください。
 - 袋ナット・テーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きを間違えないように接続してください。水漏れのおそれがあります。



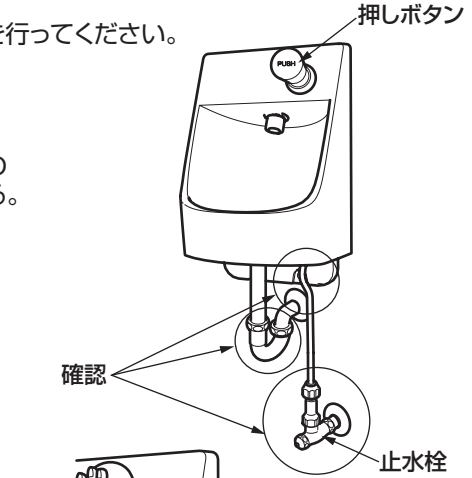
施工後の確認

1. 取り付け完了後の確認

取り付けが完了したあと、次の方法で確認を行ってください。

<水漏れの確認>

- ① 止水栓を開ける。
- ② 給水金具・排水金具・止水栓などの接続部から水漏れがないか確認する。



<水を出す・止める>

押しボタンを押すと水が出る。
 ※一定時間水が出たあと、自動的に止まります。

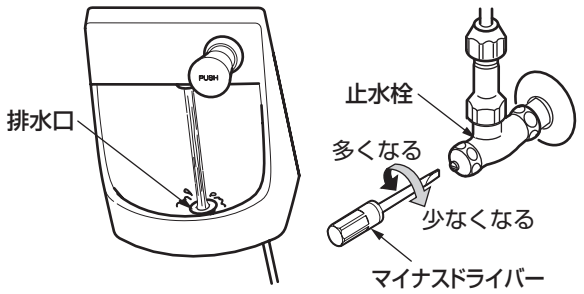


● 取り付け当初、流量は多め、吐水時間は長めにありますが、数回の水出し操作で正常になります。

※ 流量や1回分の吐水時間の調節は、数回の水出し操作後、以下の手順に従い正しく行ってください。
 手順を誤ると、正しく設定できないことがあります。

2. 流量の調節

使用時に水飛びしない程度に流量を調節してください。
 マイナスドライバーなどで止水栓を回して水が排水口に当たる程度が目安です。



3. 1回分の吐水時間の調節

1回分の吐水時間を調節する場合次の要領で行ってください。
 なお、1回分の吐水時間の最大は**0.05MPa時、20秒程度**です。

1. 流量を確認する。

使用時に水が排水口に当たるよう流量が調節されているか確認してください。

2. 流量の調節

2. 流量の調節

3. 押棒の回り止めのため、モンキーレンチで押棒を支える。

4. マイナスドライバーを差し込み、押棒内部の吐水時間調節ねじを回す。

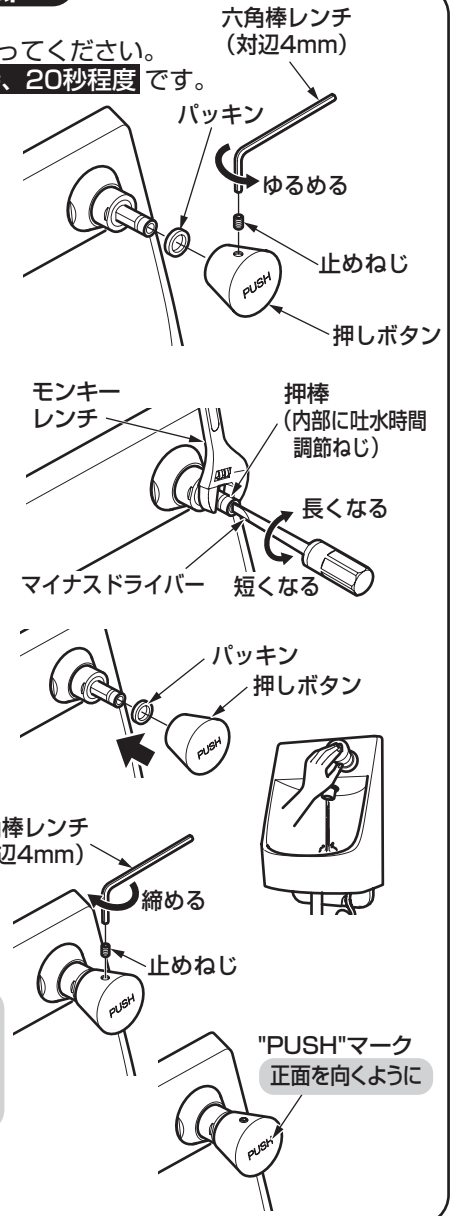
時計回りに回すと吐水時間が長くなり、
 反時計回りに回すと短くなります。

5. 押しボタンを仮締めし、押しボタンを押して吐水時間を確かめる。

6. 適切な時間に調節が完了したら、止めねじを締め付ける。

※ 止めねじはゆるまないように十分に締め付けてください。

※ 押しボタンは取り付け後、"PUSH"マークを正面の位置にしてください。

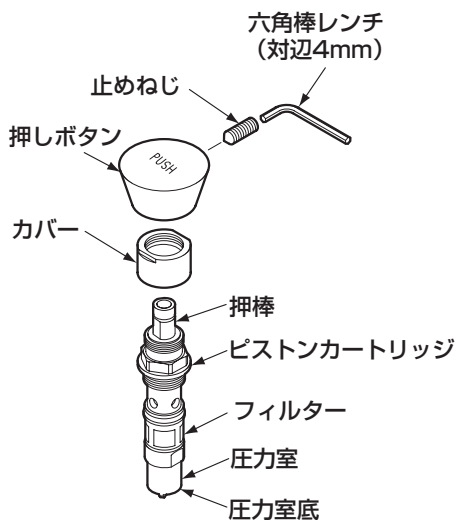


4. 取り付け後の掃除

フィルターが詰まると、水の流れが乱れたり吐水量が少なくなるなど、機能が十分に発揮されませんので、器具の取り付け後は必ず掃除してください。

●フィルターの掃除

- (1) 止水栓を閉じる。
- (2) 止めねじを付属工具(六角棒レンチ)でゆるめて押しボタンを取り外す。
- (3) カバーをスパナでゆるめて取り外す。



- (4) ピストンカートリッジをスパナでゆるめて取り出す。
- (5) フィルターの網目に詰まったごみを歯ブラシなどで掃除し十分水洗いする。
- (6) 組み立てる (※)

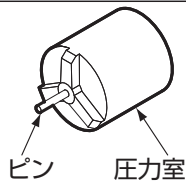
- (※) ・組み立ての際はピストンカートリッジがゆるまないよう十分に締め付けてください。
 ・付属の六角棒レンチは必ずお客様にお渡しください。

⚠ 注 意



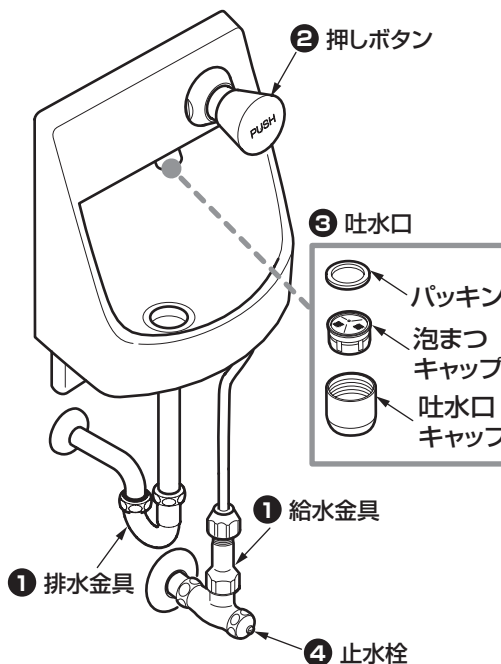
禁止

圧力室底に指などが触れた状態で押棒を操作しない
 押棒を操作した場合、圧力室底からピンが飛び出
 ます。
 けがをするおそれがあります。



点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



水出し確認

配管部の元栓を開け、吐水口から水が出るか確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

② 押しボタン取り付け用ねじはゆるんでいませんか？

➡ 6-2-③ 「給水金具の取り付け」参照

流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

③ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

➡ 吐水口の掃除をする。

④ 止水栓は開いていますか？

➡ 7-1 2.流量の調節 参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 給水金具・排水金具・給排水管はしっかり接続されていますか？

- ➡ 6-2-③ 「給水金具の取り付け」参照
- ➡ 6-3-⑤ 「排水金具の取り付け」参照
- ➡ 6-3-⑦ 「給水管の接続」参照

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。